



中山間地域の食支援

阿新虹の訪問看護ステーション

須藤 美帆

訪問看護のご紹介

- 新見市内に3カ所（くろかみ・WITH・虹）
- 主治医から指示をいただき、自宅に訪問
- 主治医との連携
- 状態観察、保清（清拭・入浴介助・ベッド上入浴など）、服薬管理、医療処置（点滴・褥瘡処置・カテーテル管理など）、リハビリ、終末期ケアなど
- 緊急時の対応

訪問看護の変化

以前は・・・





- ・ 2世代同居 3世代同居が珍しくない
- ・ 情報収集が容易にできた
- ・ ご家族へのアドバイスが多かった

現在は・・・

- ・ 独居、高齢者世帯（老々介護 認認介護）が増えてきた
- ・ 直接の情報収集ではなく、周囲をよく観察し、会話の中から情報を得る
- ・ 生活全体をみる・支える



ご飯を食べたと言うけれど・・・

- 茶碗や皿を使った形跡があるかな
 - 誰が調理したのかな
 - 材料はどうやって調達したのかな
 - 冷蔵庫の中はどうなっているかな
 - 食べ残しはどうしているかな
 - 傷んだものを食べていないかな
- 
- 
- 
- 

買い物ができない・・・

- 交通手段がない
- お店がない
- 移動販売では購入できるものが限られている
- 食べたいときに食べたいものが食べれない

まとめ

- 人間の三大欲求である「食欲」＝「食べること」が脅かされている
- 「食べること」が脅かされるのは命の危機につながる
- 人間らしい当たり前の生活



- ケアマネージャーや他のサービス事業所と情報交換し、支援の方法を考える
- 介護サービスだけの問題ではなく、新見市全体の問題としてとらえる

ご清聴ありがとうございました

